

第1回麻疹風しん等対策部会 の議事結果について

第1回麻しん風しん等対策部会における議事結果について

1. 開催日 令和5年6月1日（木） web開催
2. 議事
 - (1) 部会長の選任について
 - (2) 麻しん（はしか）・風しんの発生状況等について
 - (3) 2023年4月 麻しん（はしか）事案について
 - (4) 県内の感染症発生動向について
3. 議事結果
 - (1) 委員の互選により「須磨崎 亮 委員（茨城県立こども病院名誉院長）」を選出した。
 - (2) (3) 県内の麻しん（はしか）・風しんの発生動向及び4月の事案について、各委員より今後の施策等について意見を頂戴した。
 - (4) 特に意見なし。

4. 主な意見

- 医療機関における職員の抗体価の確認については、コロナ禍で職員の出入りも多くあり、不十分な点があったと認識しており、今回の事例を踏まえ適切に対応していく必要が有る。
- 5類に変更になった事で感冒様症状を訴える患者への対応や感染対策を緩めている医療機関がある程度あると思われる事から、初動時においては、保健所より医療機関に対し、疑っている感染症に対する感染防御の指導などを行っていただけると大変ありがたい。
- 麻しん事例が確認されるとワクチン接種が急に進むことも想定されるので、県として卸組合等と連携し、在庫状況などを把握し、医療機関に対し情報提供した方が良いのではないか。
- 海外に行く前の2回接種については、ぜひ啓発を強化した方がいい。
- はしかを見慣れていない先生がほとんどになってしまっているのので、やはり海外渡航後の発熱・発疹は隔離するということ徹底する必要が有る。
- 渡航歴の確認については医師会などと連携して必ず受診者に確認する周知を考えて頂きたい。
- 医療機関でも自治体でもなかなか見る機会が減ってきているのが現状で、対応が必ずしもうまくいかない可能性があるのので、今回のいい事例を県内外に周知していただきたい。
- 県内の医療機関に、ワクチンの2回接種または抗体価16以上を満たしているかどうかといった視点でデータを見直してほしいということを知った方がいいのではないか。
- 小児の接種率は、ここ数年ちょっとずつ下がってきている状況にあるので、啓蒙が重要。
- 定期接種制度が2歳になると対象外になってしまうので、2～5歳のキャッチアップを増やしたりだとか、根本的には定期接種の範囲を広げるなどやって頂きたい。

第1回麻疹風しん等対策部会資料（抜粋）

令和5年6月1日
R5第1回茨城県感染症対策連携協議会
麻疹風しん等対策部会

資料
2

[1] 麻疹風しん発生状況

1. 麻疹発生状況

		平成30年	平成31年 /令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年*
茨城県	検査診断例	3	10	0	0	0	1
	臨床診断例	0	0	0	0	0	0
	修飾麻疹	0	7	0	0	0	0
	合計	3	17	0	0	0	1
全国	検査診断例	194	449	6	3	3	7
	臨床診断例	3	9	0	1	0	0
	修飾麻疹	82	286	4	2	3	0
	合計	279	744	10	6	6	7

*令和5年5月24日現在

【令和5年 本県における麻疹発生状況】

No	診断月日	届出保健所	年齢	性別	病型	症状	備考
1	4月27日	竜ヶ崎	30歳代	男	検査診断例 (PCR法による 病原体遺伝子 の検出)	発熱、発疹、 咳、下痢	ワクチン接種歴：1回 4月14日インドから帰国 遺伝子型：DS

《参考》

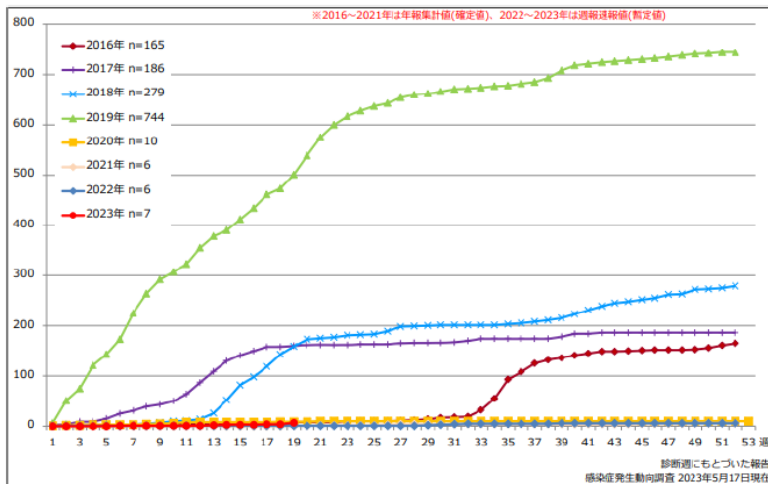


図1. 全国の麻疹累積報告数の推移 2016～2023年（第1～19週）

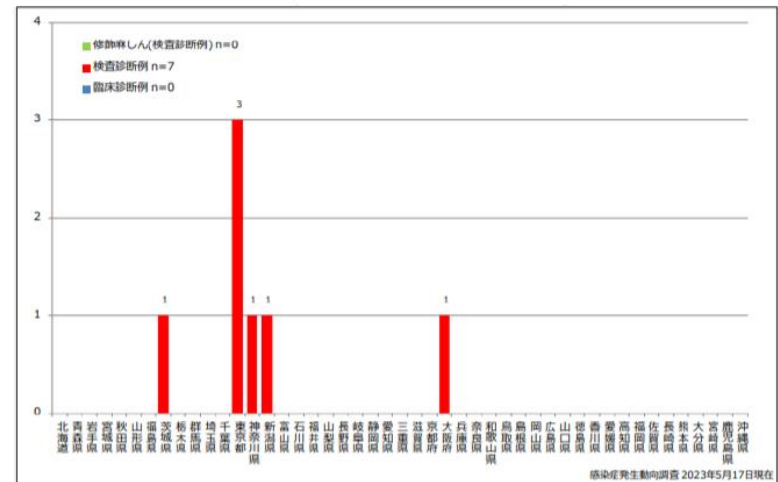


図2. 都道府県別，診断別累積報告数（2023年第1～19週）

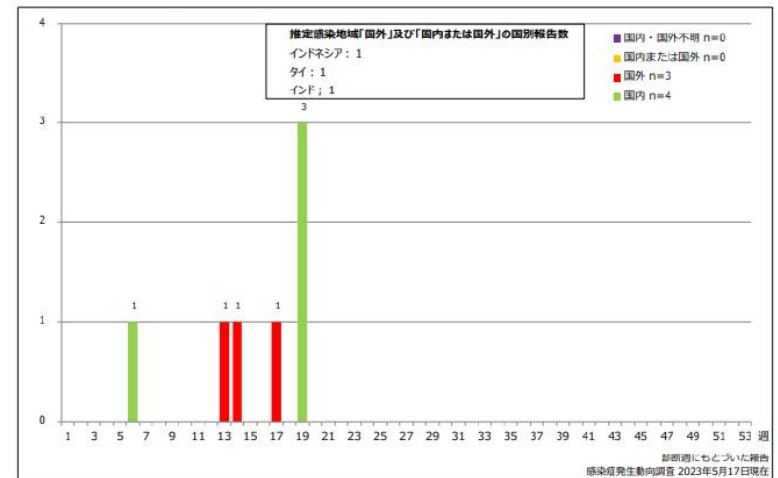


図3. 週別推定感染地域（国内・外）別報告数（2023年第1～19週）

第1回麻しん風しん等対策部会資料（抜粋）

2. 風しん発生状況

	平成30年	平成31年 /令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年*
茨城県	検査診断例	72	20	1	0	0
	臨床診断例	1	0	0	0	0
	合計	73	20	0	0	0
全国	検査診断例	2,850	2,228	95	11	13
	臨床診断例	91	70	6	1	1
	合計	2,941	2,298	101	12	14

*令和5年5月24日現在

3. 先天性風しん症候群

	平成30年	平成31年 /令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年*
茨城県	0	0	0	0	0	0
全国	0	4	1	1	0	0

*令和5年5月24日現在

《参考》

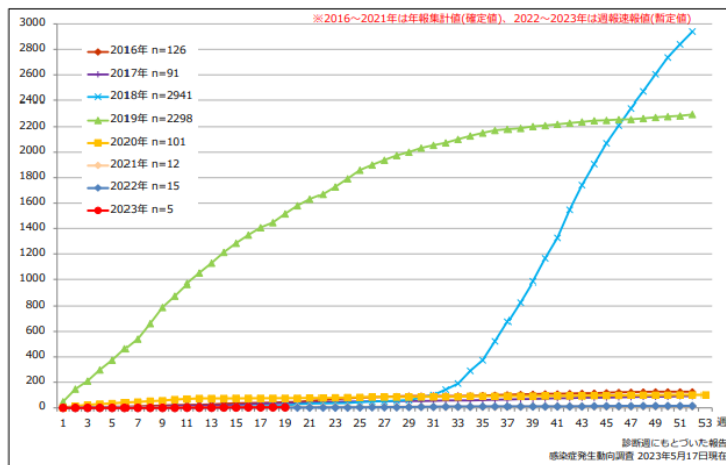


図4. 全国の風しん累積報告数の推移 2016～2023年（第1～19週）

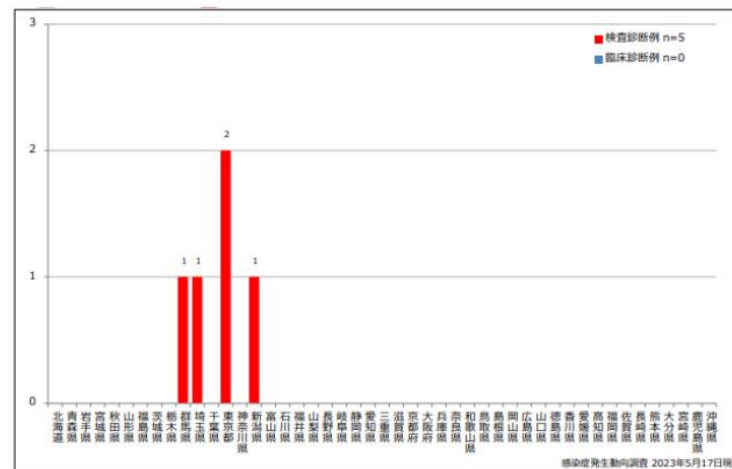


図5. 都道府県別、診断別累積報告数（2023年第1～19週）

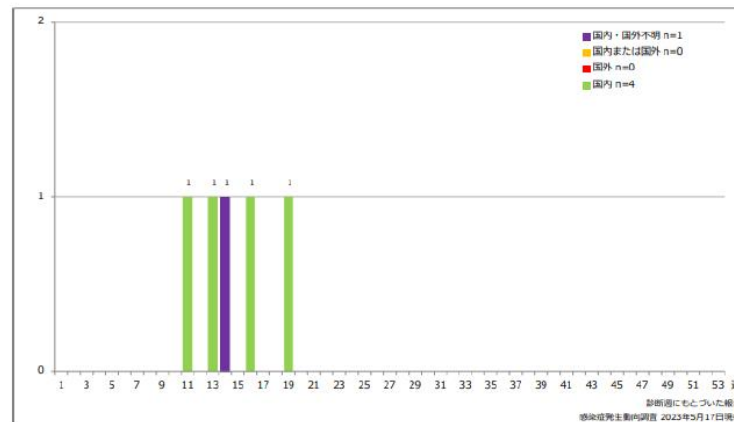


図6. 週別推定感染地域（国内・外）別報告数（2023年第1～19週）

第1回麻疹風しん等対策部会資料（抜粋）

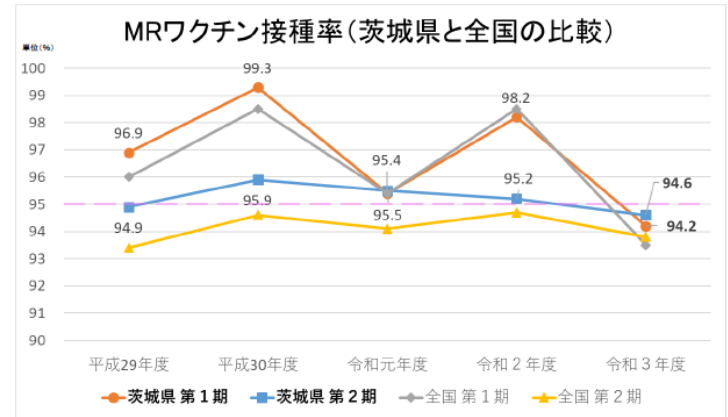
[2] 風しん麻疹予防接種実施状況

1 令和3年度 都道府県別麻疹風しんワクチン接種率

令和3年4月1日～令和4年3月31日

No.	都道府県	麻疹		風しん	
		第1期	第2期	第1期	第2期
	合計	93.5	93.8	93.5	93.8
1	北海道	92.3	90.0	92.3	90.0
2	青森県	93.0	95.9	93.0	95.9
3	岩手県	91.4	95.2	91.4	95.2
4	宮城県	94.2	94.2	94.2	94.2
5	秋田県	97.2	96.0	97.2	96.0
6	山形県	93.2	95.6	93.2	95.6
7	福島県	93.1	94.1	93.1	94.1
8	茨城県	94.2	94.6	94.2	94.6
9	栃木県	94.1	93.6	94.1	93.6
10	群馬県	93.2	95.8	93.2	95.8
11	埼玉県	92.4	94.1	92.4	94.1
12	千葉県	92.2	94.7	92.2	94.7
13	東京都	93.9	93.2	93.9	93.2
14	神奈川県	93.9	93.0	93.9	93.0
15	新潟県	97.2	95.8	97.2	95.8
16	富山県	95.3	94.9	95.3	94.9
17	石川県	90.3	96.4	90.3	96.4
18	福井県	95.1	95.3	95.1	95.3
19	山梨県	95.0	92.3	95.0	92.3
20	長野県	90.0	94.5	90.0	94.5
21	岐阜県	93.7	94.5	93.7	94.5
22	静岡県	94.1	94.2	94.1	94.2
23	愛知県	95.0	94.6	95.0	94.6
24	三重県	93.5	94.8	93.5	94.8
25	滋賀県	91.5	93.9	91.5	93.9
26	京都府	93.0	93.3	93.0	93.3
27	大阪府	93.4	92.3	93.4	92.3
28	兵庫県	92.7	93.9	92.7	93.9
29	奈良県	90.3	95.4	90.3	95.4
30	和歌山県	94.5	94.3	94.5	94.3
31	鳥取県	94.1	93.7	94.1	93.7
32	島根県	93.6	94.8	93.6	94.8
33	岡山県	94.9	96.7	94.9	96.7
34	広島県	93.7	94.5	93.7	94.5
35	山口県	93.5	94.5	93.5	94.5
36	徳島県	92.6	94.3	92.6	94.3
37	香川県	94.1	95.6	94.1	95.6
38	愛媛県	94.0	93.2	94.0	93.2
39	高知県	92.7	92.3	92.7	92.3
40	福岡県	94.2	94.6	94.2	94.6
41	佐賀県	90.4	94.8	90.4	94.8
42	長崎県	93.5	91.7	93.5	91.7
43	熊本県	94.8	93.2	94.8	93.2
44	大分県	93.0	95.0	93.0	95.0
45	宮崎県	94.4	93.7	94.4	93.7
46	鹿児島県	95.3	91.3	95.3	91.3
47	沖縄県	91.9	88.2	91.9	88.2

2 茨城県の麻疹風しん予防接種実施率の推移（平成29年度～令和3年度）



3 本県の麻疹風しん予防接種率の推移

上段：本県 下段：全国（全国順位）

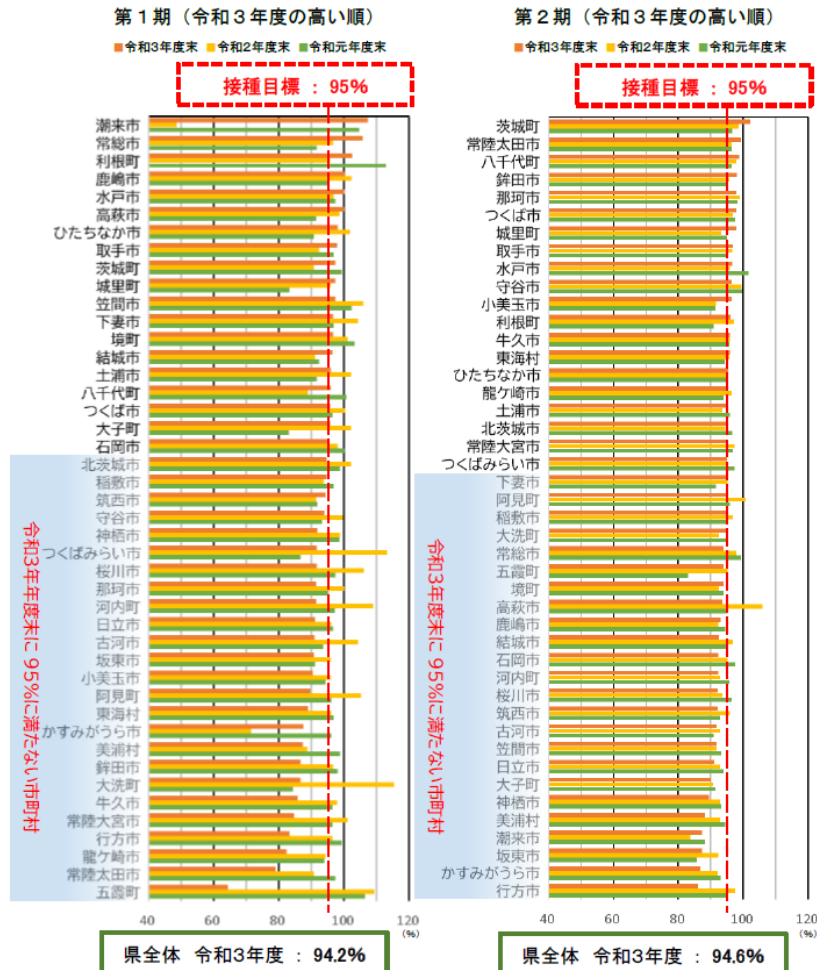
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
第1期 (1歳児)	麻疹	96.9%	99.3%	95.4%	98.2%	94.2%
	風しん	96.0% (15位)	98.5% (13位)	95.4% (23位)	98.5% (26位)	93.5% (13位)
第2期 (小学校就学前)	麻疹	96.9%	99.3%	95.4%	98.2%	94.2%
	風しん	96.0% (15位)	98.5% (13位)	95.4% (23位)	98.5% (26位)	93.5% (13位)
第2期 (小学校就学前)	麻疹	94.9%	95.9%	95.5%	95.2%	94.6%
	風しん	93.4% (11位)	94.6% (6位)	94.1% (9位)	94.7% (24位)	93.8% (18位)
第2期 (小学校就学前)	麻疹	94.9%	95.9%	95.5%	95.2%	94.6%
	風しん	93.4% (11位)	94.6% (6位)	94.1% (9位)	94.7% (24位)	93.8% (18位)

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター作成資料を改変

※ 各種接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

第1回麻疹風しん等対策部会資料（抜粋）

4 市町村別 麻疹風しん予防接種実施率（令和元年度～令和3年度）



〔3〕本県における麻疹風しん対策等について

1. 茨城県風しん抗体検査事業（県事業） ※令和元年度から実施。

(1) 事業概要

妊娠を希望する女性等に対する風しん抗体検査を無料で受け入れられる体制を整備する。

(2) 対象者

茨城県内（水戸市を除く）に居住する者で次のいずれかの要件に該当する者とする。

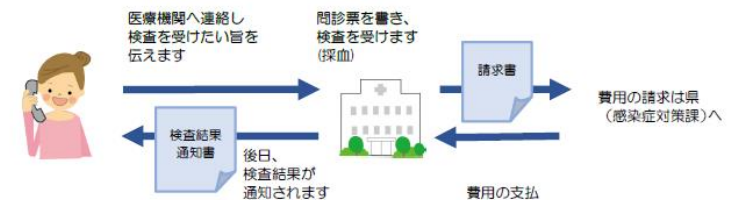
- ① 妊娠を希望する女性
- ② ①の配偶者などの同居者
- ③ 風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者などの同居者

※ただし、過去に風しん抗体検査を受けたことがある者、明らかに風しんの予防接種歴がある者、検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある者若しくは昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性は除く。

(3) 実施主体

茨城県

(4) 実施方法



(5) 実施場所

委託医療機関 441機関（令和5年度）

2. 麻疹風しんの任意予防接種に対する市町村による公費助成の状況（市町村事業）

公費助成を実施している市町村は、31市町村（令和4年7月1日調査時点）

〔水戸市、古河市、石岡市、下妻市、常陸太田市、高萩市、笠間市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城県、大洗町、城里町、東海村、大子町、河内町、八千代町、境町、利根町〕

※助成対象者は市町村によって異なり、多くは妊娠を予定（希望）している女性及び妊婦の夫であるが、抗体検査の結果、抗体価が低いと判断されたものに限る自治体もある。（下妻市、ひたちなか市、常陸大宮市、筑西市、つくばみらい市、大洗町、城里町）

第1回麻しん風しん等対策部会資料（抜粋）

※助成内容

- ・接種費用の半額（上限5,000円）：10自治体
（古河市、下妻市、常陸太田市、潮来市、守谷市、東海村、河内町、八千代町、利根町、境町）
- ・風しんワクチン3,000円・麻しん風しん混合ワクチン5,000円：15自治体
（水戸市、石岡市、笠間市、つくば市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、桜川市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、茨城町、大洗町、城里町）
- ・上限3,000円：4自治体
（高萩市、鹿嶋市、神栖市、小美玉市）
- ・麻しん風しん混合ワクチン5,000円：1自治体（坂東市）
- ・全額補助（風しんワクチン・麻しん風しん混合ワクチン）：1自治体（大子町）
（参考）医療機関での接種費用は、風しん単独が約6千円、麻しん風しん混合が約1万円

3. 風しんの追加的対策（市町村事業）

これまで予防接種法に基づく定期接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い（約80%）、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、全国で原則無料で、抗体検査及び予防接種（予防接種法に基づく定期接種）を実施する事業。実施に当たっては、令和元年度から令和3年度までの3か年計画で、令和3年度末までに、対象世代の男性の抗体保有率を90%以上に引き上げることを目標としている。

※令和3年度までに目標達成を掲げていたが、目標達成が困難であることから、その後、令和6年度（3年間延長）まで事業が継続されている。

4. 定期接種勧奨について

麻しん及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種を促すため、市町村、庁内教育関係部署（総務課私学振興室、教育庁保健体育課、福祉部子ども未来課）、茨城県医師会に対し、接種勧奨通知を発出。（令和4年12月22日、令和5年4月28日）